

非破壊試験技術講習会開催案内

(2022年10月:超音波探傷試験レベル2コース PART-A/超音波探傷試験レベル3コース)
 - JIS Z 2305:2013に基づいた訓練 -

主催 一般社団法人 日本非破壊検査協会
 The Japanese Society for Non-Destructive Inspection
<http://www.isndi.jp/>

当協会では、JIS Z 2305:2013「非破壊試験－技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を実施致しております。JIS Z 2305:2013では受験申請資格として各NDT方法で、「訓練時間」が要求され、訓練実施記録が必要となります。
 本講習会開催案内は、10月に先行して開催される、**超音波探傷試験レベル2コース PART-A**及び**超音波探傷試験レベル3コース**のみのご案内となります（その他の講習会に関しましては、例年通り12月～1月に開催されます）。

なお、受講終了後に訓練実施記録を発行し、講習会最終日に手渡し致します。

以下のURLよりお申し込み下さい。お申込みはインターネットのみで受付しております。
<http://www.jsndi.jp/education/class/>

※新型コロナウイルスに伴う、講習会受講の注意事項

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止に伴い、当協会では、以下の対策をした上で、講習会を開催しております。受講者の皆様におかれましては、下記の点に十分ご留意の上、お申し込み下さい。

- 1.) 会場入口に備え付けてある消毒用アルコールで手指を消毒してください。また、こまめな手洗いを励行願います。講習会終了後には事務局にて、机・椅子の除菌を実施致します。
- 2.) 朝の講習会受付時に、非接触体温計にて検温を実施いたします（実習指導員及び事務局含む）。
- 3.) 感染防止のため、席の間隔を空けてお座り下さい。
- 4.) 全室換気扇は24時間稼働しておりますが、部屋の空気を新鮮に保つため、窓や扉を開けて「換気」を行います。
- 5.) 他の人への感染を防ぐため、咳エチケットを心掛けて下さい。
 - ・必ずマスクを着用して下さい。
 - ・口と鼻を覆ったティッシュは、ビニール袋に包んで、すぐにゴミ箱に捨てて下さい。
- 6.) 以下の症状がある方は受講することはできません。また、万が一、受講中に気分が悪くなった場合は無理をせずに、講師・指導員または事務局にお申し出ください。
 - ・新型コロナウイルスに感染しており、完治していない方
 - ・37.5℃以上の発熱がある方
 - ・発熱が続いている、強いだるさや息苦しさがある等、感染の疑いがある方

※講習会キャンセルについて（必ずご確認ください）

新型コロナウイルス感染拡大を受け、受講申込確定後のキャンセル及びコース変更は柔軟に対応しておりましたが、2021年4月以降は、**キャンセルは原則ご遠慮いただいております**。受講申込に際しては、所属企業様に講習会への参加についての可否を事前にご確認の上、お申込みください。

JIS Z 2305:2013認証試験の受験申請資格

1) レベル1・レベル2

各NDT方法について、認証で要求されている訓練時間を満足することが必要であり、レベル1の資格を有していない方がレベル2の受験申請を行う際には当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要となります。（受験申請時から過去5年以内のもの）。※レベル1の講習会は12月～1月に開催いたします。

レベル3

関連訓練コースの履修、関連NDTの学術講演会、セミナーに出席又は発表による貢献、あるいはNDT関連の書籍の執筆、又はそれらによる学習の証明等が必要となります（受験申請時から過去5年以内のもの）。

2) 各NDT方法については、認証で要求されている訓練時間を満足することが必要です。また、レベル3を受験申請する際は、申請しようとするNDT方法のレベル2資格を保持している必要があります。

※写真及びビデオ撮影及び録音について：

- ・講習会会場における機材・試験片等の写真撮影、ビデオ撮影及び録音等は固くお断りしておりますのでご了承下さい。受講に際して、積極的な参加が認められない場合、訓練実施記録を発行しない場合がございます。

個人情報について：

講習会申込書に記入されました個人情報は、講習会関係書類の作成に使用し個人情報を遵守し取り扱います。

※講習会をお申し込みの方は、必要書籍がございますのでご確認下さい。

超音波検査関連書籍 使用書籍：○ 参考書籍：△（消費税込価格）

書籍名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会費	資格	レベル1	レベル2		レベル3	UM厚さ
								PAR T-A	PAR T-B		
超音波関係	超音波探傷試験 I	2017	超 I	320117	2,530	2,277	○	△	△		
	超音波探傷試験 II	2019	超 II	320129	4,620	4,158		○	○		
	超音波探傷試験 III	2017	超 III	320137	8,360	7,524				○	
	超音波厚さ測定 I	2021	超厚 I	320111	2,860	2,574	○	△	△		○
	超音波厚さ測定 I 問題集	2017	超厚問	320217	1,430	1,287	○				○
	超音波探傷試験 I 問題集	2021	超 I 問	320211	3,190	2,871	○				
	超音波探傷試験 II 問題集	2019	超 II 問	320229	4,180	3,762		○	○		
	超音波探傷試験 III 問題集	2019	超 III 問	320239	3,740	3,366				○	
	超音波探傷試験実技参考書「デジタル超音波探傷器」編	2009	超実デ	321308	5,762	5,238	○		○		
	各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験	2004	各 超	321570	6,076	5,552		○	○	○	
	鉄骨溶接部の超音波探傷試験実施マニュアル	1999	鉄超マ	321589	4,191	3,771		△	△		
	超音波探傷入門（パソコンによる実技演習） DL版「デジタル超音波探傷器」編	2013	超入デ	321563	5,238	4,714	△	△	△		△
他	JIS Z 2305 :2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,300	2,970	△	△	△		△
	詳解 非破壊検査ガイドブック 第2版	2018	非 ガ	600562	4,620	4,158				△	
	JISハンドブック「非破壊検査」2022	2022	非 ハ	600022	18,260	16,434		△	△	△	

※赤字が今回該当するコースとなります

超音波探傷試験レベル2は、「PART-A」と「PART-B」という2コースの講習会を実施いたします。2コースを受けていただくことにより、訓練内容別必要訓練時間（80時間：ただしレベル1の要求訓練時間を満たしている場合）を満たすことができるようになりました。詳しくはこちら
<http://www.jsndi.jp/education/pdf/1904190112132.pdf>をご覧ください。

UTレベル2コース PART-A 会員 61,479円 非会員 68,310円 (消費税込)

講習会名	地区	定員	期日	時間
注) 超音波探傷試験レベル2 (講義5日間コース)	東京 (亀戸)	30名	講義 10月15日(土)～19日(水)	9:00～17:45
	大阪 (堺筋)	30名	講義 10月8日(土)～12日(水)	

※ 講義のみのコースです。

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	NDTの目的、用語	4		40時間
	超音波探傷試験に関する規格			
超音波の伝搬と音場、きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎	7		
	波の種類			
	反射、通過と屈折			
	超音波ビームの特性			
	きずによる超音波の反射			
製品知識と探傷技術	超音波探傷方法	5		
	製造プロセス及び供用中に発生する様々なきず			
	対象となる適用品			
装置	各種探触子とケーブル	7		
	探傷器			
	接触媒質			
	標準試験片及び対比試験片			
探傷準備	仕様書, NDT手順書及びNDT指示書	5		
	試験体のきずの発生予測			
	探傷条件選定			
	適用される検査規格			
検査	探傷器の調整	5		
	標準試験片と対比試験片			
	直接接触法(垂直及び斜角)			
	水浸法(垂直)			
	測定範囲の調整及び感度の調整			
評価及び報告	きずの検出と測定	5		
	きずの評価・分類			
	きずと疑似指示の区別			
検査の品質	超音波指示の解釈と評価	2		
	技術者の資格			
	機器の検証			
計		40	0	

注)

受験条件（訓練内容別必要訓練時間）を満たすには、超音波探傷試験レベル2コース PART-A（本コース）を受講した後、超音波探傷試験レベル2コース PART-B（12～1月開催のコース）を受講してください。

UTレベル3コース 会員 65,340円 非会員 72,600円 (消費税込)

講習会名	地区	定員	期日		時間
注) 超音波探傷試験レベル3 (講義4日間コース)	東京 (亀戸)	—	開催なし		9:00~17:45
	大阪 (堺筋)	30名	講義	10月1日(土)~4日(火)	

超音波探傷試験レベル3コースは、半期ごとに東京と大阪で交互に開催致します。

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	NDTの目的、用語、歴史	2		32時間
	超音波探傷試験に関する規格			
超音波の伝搬と音場、 きずによる超音波の 反射	超音波に関する基礎	6		
	波の種類			
	反射、通過と屈折			
	超音波ビームの特性			
製品知識と探傷技術	きずによる超音波の反射	3		
	超音波探傷方法			
	製造プロセス及び供用中に発生する様々なきず 対象となる適用品			
装置	各種探触子とケーブル	4		
	探傷器			
	接触媒質			
	標準試験片及び対比試験片			
探傷準備	仕様書, NDT手順書及びNDT指示書	6		
	検査対象と技術パラメータの選択			
	測定すべき項目			
	適用される検査規格			
検査	技術文章の管理	3		
	標準試験片と対比試験片			
評価及び報告	補足的NDT手法の使用	4		
	適切な標準と規格の解釈			
	評価			
	合否基準			
	有意な差異のレベル			
	保守検査の評価 データの保存と記録の手順			
検査の品質	技術者の資格	2		
	機器の検証			
	文書のトレーサビリティ			
	適用可能なNDT方法と製品規格のレビュー			
	他のNDT資格及び認証システム			
技術開発及び情報入手	工業的、科学的な超音波の応用に関する 最新の開発	2		
	情報入手方法			
計		32	0	

注)

当協会のUTレベル3コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。本コースを受講した場合の不足時間はレベル3の基礎コース8時間ですので、当協会の「レベル3非破壊試験技術講習会 基礎コース」を受講するか、他機関、もしくは自社訓練にて、シラバスに沿った追加訓練を行って下さい。「レベル3非破壊試験技術講習会 基礎コース」は7月に開催いたします。

講習会のお問合先：一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター（学術部業務課）

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル TEL:03-5609-4013 FAX:03-5609-4061

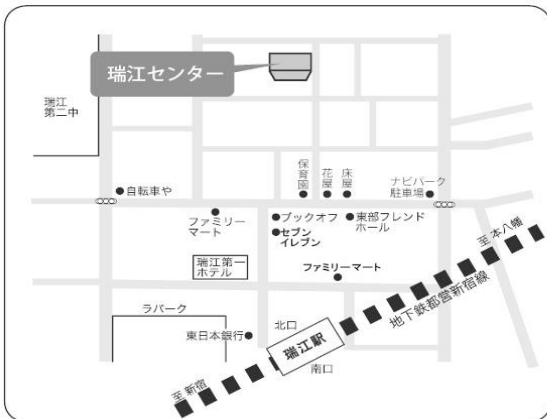
講習会会場案内

地区	会場
東京	一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル
	一般社団法人 日本非破壊検査協会 瑞江センター 〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2-11-9
大阪	一般財団法人 電子科学研究所 会議室 〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-3-6 非破壊検査ビル
	一般社団法人 日本非破壊検査協会 堺筋センター 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町2-2-13 大阪堺筋ビル

***会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時には必ずご確認ください。**

**一般社団法人 日本非破壊検査協会
瑞江センター**

都営新宿線「瑞江駅」下車、北口より徒歩 約3分



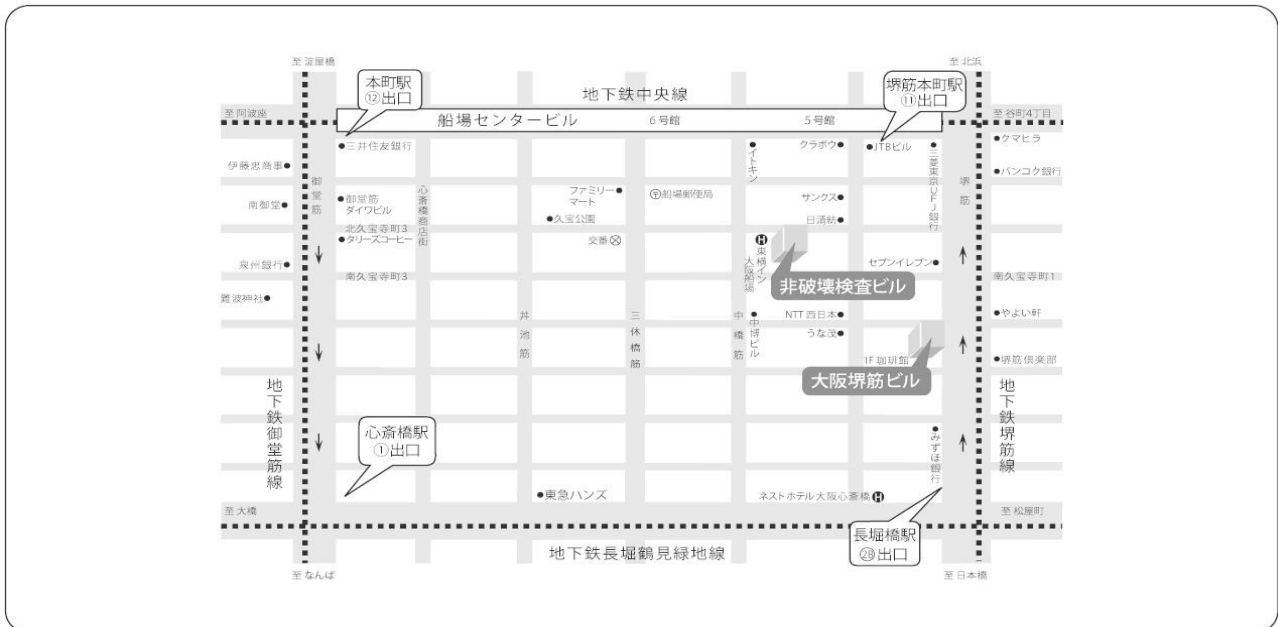
**一般社団法人 日本非破壊検査協会
亀戸センター 立花アネックスビル**

JR総武線・東武亀戸線「亀戸駅」下車、北口より徒歩 約5分



**一般財団法人 電子科学研究所
非破壊検査ビル**

堺筋線・中央線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約5分、
御堂筋線「本町駅」下車、徒歩 約10分



**一般社団法人 日本非破壊検査協会
堺筋センター 大阪堺筋ビル**

中央線・堺筋線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約5分